



ほんよみnet

令和4年度
第1号

星が丘地域学校園図書分科会

「ほんよみnet」は、戸祭小、昭和小、上戸祭小、星が丘中の4校の図書館司書が作る星が丘地域学校園の図書だよりです。各学校の図書室の様子や本の情報などをお伝えします。

星が丘学校園図書室の目標は、「質の高い本を読もう！」です。おたよりや掲示、読み聞かせやブックトークなどで、学年にふさわしい本をたくさん紹介していきたいと考えています。

「スター☆文庫」 本の名前クイズに挑戦！

「スター☆文庫（星が丘地域学校園推薦図書）」は、各学年におすすめしている本です。今回も、このスター☆文庫に関するクイズを出します。本の情報と紹介文を読んで、本の名前の□に合う文字を入れましょう。その□の文字をつなぎ合わせると、ある言葉になります。＜答え＞にその言葉を書いてください。正解者には、星が丘地域学校園オリジナルしおりをプレゼントします。

①



小学1年『しっぽのは□らき』
川田健/作 教育図書

どうぶつのしっぽには、いろいろなはたらきがあります。手のようなはたらきをするしっぽ。体にとまるはえやあぶをおいはらうしっぽ。パラシュートのやくめをするしっぽ。体をささえるしっぽ。これらのしっぽをもつどうぶつは、どんなどうぶつだと思いますか。本をよんでたしかめてみましょう。

②



小学2年『スーホ□□ろい馬』
大塚勇三/作 福音館書店

モンゴルにくらす、羊飼いの少年スーホ。スーホがある日連れて帰ってきた白い子馬は、だんだんと大きくなり、二人は固いきずなで結ばれました。ところがある日、はなればなれになってしまいます…。人間と動物との愛や友情について考えさせられるお話です。

＜答え＞

____年 ____組 ____名前____

--	--	--	--	--	--	--	--	--

*名前を書いてから、図書室の先生に提出しましょう。（7月20日まで）

●本の名前をクイズにするために、漢字をひらがなにしているところがあります。

②「スーホの白い馬」④「菜の子先生がやってきた」⑤「シートン動物記」⑧「小僧の神様」

③



小学3年『ち□ちゃんのかげおくり』
あまんきみこ/作 あかね書房

戦争の悲惨さを描いた物語です。おとうさんを戦争に送り出し、家族3人になったちいちゃん。ある夏の朝、空襲に遭います。焼け出されたちいちゃんは、家族とはぐれ、ひとりぼっちになってしまいます。空腹に耐え、たったひとりで生きようとした小さな女の子の悲しい物語です。

④



小学4年『□の子先生がやってきた』
富安陽子/作 福音館書店

菜の子先生は、運のいい人だけが出会える謎の先生です。菜の子先生と会った子どもたちは、ふしぎな冒険をすることになります。行方不明になった桜の木を探したり、放課後のだれもいない学校で怖い体験をしたり・・・菜の子先生の魔法のような5つのお話、ぜひ楽しんでください。

⑤



小学5年『シートンどうぶ□きオオカミ王ロボ』
シートン/作 童心社

ロボは、クルンパの高原を支配する「オオカミ王」です。体が大きく利口で、群れをよく統率していました。ウシを食い荒らされて困っている牧場主が毒餌やわなを仕掛けても、賢いロボはひっかかりません。しかし、雌のブランカが捕まってしまう…。人間対ロボの攻防戦、ぜひ読んでください。

⑥



小学6年『いわたくんちのおばあち□ん』
大野夏美/作 主婦の友社

いわたくんちのおばあちゃんは、写真を撮られるのが嫌いです。理由は、この本を読むとわかります。家の近くに原子爆弾が落とされた時、おばあちゃんは16歳でした。最後のページの写真を見ると、この先もずっと平和な世が続くようにと願わずにはいられません。平和の尊さを伝えてくれる一冊です。

⑦



中学『ガラ□のうさぎ』
高木敏子/作 金の星社

1945年3月10日は東京大空襲の日。父母は東京で暮らし、12歳の敏子は、妹二人と一緒に静岡に疎開していました。妹たちは両親に会いたくて、2月に東京に帰っていました。そこで空襲があり、母と妹たちは、行方不明になってしまいました。わずか2時間半の爆撃で約10万人以上の死者が出た大きな空襲でした。戦争の恐ろしさを伝えていきます。

⑧



中学『小僧のか□さま』
志賀直哉/作 新潮社

仙吉は、神田のある秤屋に奉公していました。番頭さんたちがお寿司の話をしていました。仙吉は、そこのすし屋に行ってみたくて思いました。ある日、使いの帰りにそのすし屋に入りましたが、お金が足りなくてお寿司を食べられませんでした。そんな仙吉を見かけて貴族院の男は、別の日に秤屋で仙吉を見かけます。そして…。